

棚田保全活動と連携したイノシシの被害防止対策

1 要旨

周南市中須北地区は、市内から20km北東に位置し、旧周東町と旧美川町と隣接する標高300mの中山間盆地にある。5集落がすり鉢状に美しい棚田で結ばれており、棚田は平成12年に結成された「棚田清流の会」を中心に地区住民が協力して保全に取り組んでいる。

近年、イノシシの生息頭数の増加により農作物の食害のみならず、畦畔や法面の崩壊等の被害が発生しており、地区内の環境点検をとおして侵入防止柵の整備および捕獲活動等の取組を強化した。

2 地区の概要

地区名	周南市中須北地区
戸数	95戸（うち農家76戸）
耕作面積	田 30ha、畑 2ha
主な作物	水稻、野菜
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和元年度



3 被害の状況と課題

近年、イノシシの生息頭数の増加により農作物の食害のみならず、畦畔や法面の破壊など多大な被害を受けるようになった。

地区では、イノシシ被害の状況の把握と既設の侵入防止柵の点検を実施することとした。

4 取組内容

(1) 周辺環境の調査

地域住民により、集落内農地の状況とイノシシ被害状況の調査、地区に設置した侵入防止柵の点検を行い、3年間の活動方針を作成した。

(2) 活動方針に沿った取組み

- ・ 地区に設置した侵入防止柵の点検・補修を実施した。
- ・ 猟友会と地区住民合同でイノシシ捕獲活動を実施した。

- ・ 農業体験交流の実施等により都市住民と連携しながら耕作放棄地対策を行う等、環境整備を行っている。



[中須北区の全景]



[イノシシ防護柵の点検・補修]



[棚田清流の会の活動による棚田の保全]



[都市部住民との交流会の様子]

5 取組の成果

集落に設置した侵入防止柵の整備及び捕獲活動の強化により、イノシシの出没情報や被害が減少した。

(千円)

区分	事業 実施前	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	300	176	▲124	60	▲240	—	—

6 地区代表者のコメント

イノシシの侵入を防ぐことが出来た。一部柵が高くウリ坊の侵入もあったが、畦周りを歩いただけで被害は少なかった。他方、サル等の出没や被害が見られ始めており、今後地区内で対応を検討したい。

7 今後の取組

当地区は、鳥獣被害の軽減に向けて地域ぐるみで意欲的に取り組んでいる。また、都市住民との交流により耕作放棄地対策を含めた取組でもあり、管内他地区においても鳥獣被害対策の参考にしたい。